

高P会長に住吉氏

つながりを楽しもう



県公立高等学校PTA連合会は7日、静岡市駿河区のホテルグランヒルズ静岡で6年度「総会・研修会」を開いた。役員改選が行われ、三輪高太郎会長が名誉会長に就き、新会長に住吉明氏・静岡農業が就任した。

住吉会長（54）Ⅱ写真Ⅱ

は「息子が静岡農業でお世話になりました。人のつな

がりを感じています。子供たちの学校生活が充実するよう頑張りたい。PTA活動は楽しいし、この楽しい活動を発信したい。何事も一人では出来ないで、つながりを大切に、校長先生や教職員と一緒に盛り上げたい」とあいさつした。

池上重弘教育長は「学びの在り方が探究学習によって変わった。PTA活動にも探究的視点を取り入れてください。PTAが学校の変革を進めるプラットフォームになり、PTAが学校、家庭、地域をつなげるプラットフォームになることを期待します」と語った。議事では、役員改選の

他、予算、事業計画を承認。

研修会では、講師の石田勝紀・教育デザインラボ代表理事が「AI時代を生きる子どもたちの『能力』を引き出す3つの方法」の演題で講演。「そもそもAIは人間が作っている」と前置きし、「子どもたちに必要な3つの力は、考える力、

創り出す力、人を大切にする力」と述べ、創り出す力の伸ばし方については「人財育成の最大原則は長所を引き出すこと。長所はその人の持ち前の力であり、短所を是正しても創造力は伸びない。また、創造力は困難に直面することで引き出される力でもあるから、失

敗が必要。失敗した時に『どうする』と聞かれると、人は考え始める。この様に、困難な状況は創造力が伸びるチャンスになる。いつもと違う道を歩くなどワンパターンから外れることや、周囲の行動パターンから外れることも効果的」と語った。

◆6年度役員 ▼会長Ⅱ

住吉明・静岡農業 ▼副会長Ⅱ杉山大一・韭山、河田憲一郎・沼津工業、山本泰三・清水桜が丘、原拓也・浜松北 ▼校長理事Ⅱ織田敦・静岡、齊藤篤・沼津東、井島秀樹・清水東、鈴木敏彦・浜松北 ▼常務理事Ⅱ鈴木伸彦・事務局長。